

改善箇所説明図



<不具合の内容>

制動装置において、マスターシリンダからABSモジュレータバルブ間のブレーキパイプの配索が不適切なため、当該ブレーキパイプがエキゾーストマニホールドの遮熱板と接触していることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、走行時の振動等によりブレーキパイプが損傷してブレーキ液が漏れ、警告灯が点灯し、最悪の場合、制動力が低下する。または、漏れたブレーキ液が高温の排気管等にかかり火災に至るおそれがある。

<改善内容>

全車両、マスターシリンダからABSモジュレータバルブ間のブレーキパイプを対策品に交換する。

<識別方法>

左ストラット部分に青色ペイントを塗布する。